

## 九州地方整備局と九州建専連各構成団体との意見交換会

令和4年度

## ■主な意見交換事項

## 【適正賃金の確保、価格高騰等】

- 標準見積書の採用状況について
- 指値発注について
- 法定福利費、労務費の支払状況について
- 資材等価格高騰の状況、元請への価格転嫁（契約変更）について

## 【担い手確保、働き方改革等関係】

- 若手技術者の入職状況（高卒者等）、定着状況について
- CCUSの登録状況及び普及にあたっての課題
- 外国人材活用について
- 週休2日の実施状況（公共（国、県、市町）、民間工事）
- 超過勤務状況と縮減策について

日 程		時間帯			団体名
12月1日	木	13:30	～	14:30	九鷹連と九州躯体合同
		15:00	～	16:00	日本型枠九州支部
12月5日	月	9:30	～	10:30	九州圧送
		11:00	～	12:00	アンカー協会
		13:30	～	14:30	九鉄工連
12月6日	火	15:30	～	16:30	日塗装
12月8日	木	13:30	～	14:30	全防協
		15:00	～	16:00	全解工連
12月12日	月	13:30	～	14:30	全産連
		15:00	～	16:00	全室協
12月13日	火	15:30	～	16:30	西圧協
12月14日	水	13:30	～	14:30	全標協

【（一社）日本アンカー協会九州支部】



- ・ 標準見積書はほぼ採用、総価交渉のため法定福利費を別枠確保ではない。
- ・ 資材は高騰するが契約したら変更してもらえない。
- ・ 変更契約してくれるのは国交省くらい。県・市・NEXCO はやってくれない。
- ・ 直轄工事について、もっと法面工事を直接受注できるようにしてほしい。
- ・ 技能者の 3~4 割は外国人
- ・ 拘束時間が長いのが嫌われる要因

【西日本圧接業協同組合】



- ・ 標準見積書について、別枠で見てもらえるのはスーパーでも 2 社。
- ・ 地場ゼネコンは標準見積書を何これ？という感覚。
- ・ 工事のうち、ガスや資機材等の材料費の大部分がアセチレンガス。メーカーが値上げをしている。
- ・ 会員は月給制が 2 割程度でほぼ日給月給なので、職人は土曜日に出ないと収入が下がる。
- ・ 地場ゼネコンに CCUS 導入の意義をご指導いただきたい。

### 【(公社)全国産業資源循環連合会九州地域協議会】



- ・数量の見積がコンサル任せになっていて、実際の現場は全然違う。
- ・県や市は、一山いくらでやってと言うし、設計変更してくれない。自治体を指導してほしい。
- ・週休2日をガチガチにしても、他の現場に行っても収入を補っている。
- ・労務費が低すぎるし、入っても上がらないので、若手は入ってこない。
- ・県・市には下請表彰がない。国から働きかけをお願いしたい。
- ・成績評定、県や市は客観性がなく人（担当官）によって評価が全然違う。
- ・県や市の職員も人材不足で経験値不足。勉強会をやる等も国交省から指導してほしい。

### 【九州鉄筋工事業団体連合会】



- ・長崎では、工事費の見積、法定福利費の見積、合計の見積と3部提出している。標準見積書ではないが同じような効果があり、全体として上がっている感覚はある。
- ・材料はゼネコンが支給するので、100%労務費で利益率が低い。
- ・建設業は8:00から現場が始まるので、出勤から帰宅までの拘束時間が長い。
- ・建退共は、現場によってもらえるところともらえないところがある。

## 【九州鷹土工事業連合会・九州建設躯体工事業団体連合会】



- ・電子システムで見積を出すため、法定福利費も労務費×〇%という形で入っている。
- ・元請から予算はこれだけしかないと言われれば、その額が100%となる。
- ・鷹の設計労務単価はあるが、土工の設計労務単価はないので、ぜひ入れてもらいたい。土工は、雑用が多いため、普通作業員や軽作業員となるがこれは失礼な話。
- ・CCUSは地場企業には全然普及していない。ゼネコンと地場の差が開く一方。
- ・安全書類を作るのに、ゼネコンが違えば使用するシステムも違うので、統一してほしい。
- ・CCUSは地場企業には全然普及していない。

## 【（一社）日本型粋工事業協会九州支部】

- ・地場ゼネコンクラス（特に民間）は法定福利費も込み込みというのが現状。
- ・景気が悪くなると労務費が削られるので、市場単価よりも積み上げの積算の方がいい。
- ・設計労務単価の最後のページの1.41倍をもっとアピールしてほしい。
- ・高校への求人は、年間100日以上のお休日を条件にしないと先生や親は見向きもしない。
- ・今の子は欲がなく、食べられればいいし、転職のハードルも低い
- ・CCUSは地方の元請は理解がなく他人事。
- ・登録基幹技能者制度は、土木工事では確立してきたが、建築ではまだまだ。CCUSと連動して、専門工事業者に対して点数をつけ、ある一定の点数を持っていないと1次下請に出せないというような仕組みが必要。
- ・グリーンサイトやBuildeeなど、分かれているのを一本化してほしい。

## 【九州圧送事業協同組合連合会】



- ・指値は結構ある。質や技術力は関係ない。
  - ・見積を高くすると元請は他県から安い単価で連れて来る。知事許可業者は他県で仕事できなくなればいいのと思う。
  - ・資材高騰により変更契約をしたことはない。
  - ・コンクリートを打って、片付けてとっていると、1日に正味4時間しかない。月60~70時間の残業はざら。
- 国交省が第1・3か第2・4土曜は完全に休みと言ってくれないか。

## 【(公社)全国解体工事業団体連合会九州・沖縄ブロック会】



- ・インターネットの解体屋比較サイトが横行しているのが困っている。一般の客は、アスベストやPCB等の有害物質の処理や建設業の許可等の知識がない中、安さだけで選ぶ。
- ・元請から半値でやれ、丸投げ防止のためガードマンは元請で行っている。
- ・週休二日、ゼネコンの社員は交代で休んでいるので、下請けも含めて国から全面禁止にしてほしい。
- ・1800社の会員（30人規模の会社）がいるのに、建設マスターが年間全国で1名。
- ・公共工事の評点で、解体は「出来栄え」が全くないので、永遠に優良がとれない。
- ・大型工事の重層下請は中抜きでほとんど末端がやっている。調査した方がいい。

【（一社）全国建設室内工事業協会 九州支部】



- ・法定福利費は全体で値決めをするので工事費と一緒に（同じ割合で）値引かれる。
- ・前工程のしわ寄せを受けて10人で組んでいたのが20人必要となる。その分も我々の負担とされる。
- ・9割以上が民間建築だが契約書にスライド条項は入っていない。
- ・今はキツさと賃金が見合わないので、若い人に魅力がない。
- ・安全書類は大変で1人かかりきりになるため、CCUSの利用により効率化してほしい。
- ・元々社員職員のいない業界なので、ゼネコンは下請は2次までと言うが、そうすると我々が下請に出せない。
- ・現場の足場代を下請代金から差し引かれることがある。

【（一社）日本塗装工業会九州ブロック】



- ・法定福利費は総額が下がれば同じ割合で法定福利費も下げられる。
- ・熊本専門技術学院は、市の建物を借りていろんな業種の人々が技能を身に付けさせるための授業を行っている。求人对策協議会を作ってパンフレットを作成したり、学校訪問したりと、業種を超えた活動を行っている。
- ・日給月給制も多く残っているが、週休2日にすると労務単価で2~3割上がることになる。
- ・この現場は休みでも別の現場は開いているからそこに行く。

## 【（一社）全国防水工事業協会九州沖縄支部】



。鹿児島県（県・市の発注工事）では、下請に出す場合に、見積書に法定福利費が含まれているか確認したうえで、下請契約書と見積書をセットで提出しなければならない。鹿児島県との意見交換で要望し、県が建築協会と話をして実現できている。

- ・高校の教員は、自分の生徒をよりいい所に就職させたいので、大手や中央を勧める。最初から地元の専門工事業は勧めない。
- ・指値発注はある。そうじゃないように見せているところがある
- ・CCUS の取組状況について、地場ゼネコンは皆無。
- ・特定技能を雇うために、防水協会の年会費が安いので、資格も何もないのに協会に入りたいという問い合わせが多い。

## 【（一社）全国道路標識・標示業九州協会】

・福岡県や福岡市は指名競争で予定価格や最低制限価格を事前公表しているため、まともな積算でなくても落札できるしくみとなっている。事後公表となれば、きちんと積算できる会社が落札できる。総合評価落札方式は手続も大変で、大きな工事が少ない我々の業界では現実的ではない。

- ・県や市には物価スライドがないように思える。
- ・夜間工事も多く時間外労働規制はかなり厳しい。
- ・準備工や片づけを入れると、1日にうちの実労働時間が短い。発注者に単価を上げていただかないと。工期を長く設定しても経費がかかる。

・重層化防止はわかるが、元請（ゼネコン）の子会社が1次に入り、そこから請け負う形の方が断然仕事やりやすい（1次の会社が元請とのやりとりや現場の管理等をやってくれるので）。